



ひろみっこ

令和3年9月28日
富士市立広見小学校
学校だより 10月号

小中一貫教育目標 「一生懸命 がんばる」
重点目標 「ともに学ぼう 挑戦しよう」

10月・11月・12月の生活目標 「言葉づかいに気をつけよう。」

校長 石原 克己

10月に入ります。9月7日には、昨年より21日、平年より25日も早く富士山の初冠雪が観測されたというニュースが流れました。残暑が厳しい日もありましたが、季節の移ろいを感じられる9月でした。

そのような中、子どもたちは、緊急事態宣言延長を受けて、検温、分散登校、昇降口前の健康チェック、手洗い・消毒、黙食、マスクの着脱等、我慢や辛抱を強いられる学校生活を送ってきました。それでも、学習面・生活面とで笑顔があふれる場面が見られ、ほっと安堵する時間もありました。

さて、学校では、前期と後期の折り返しを迎えます。「実りの秋」「収穫の秋」と言われるように、前期の振り返りやまとめを生かして、後期につなげ、子どもたち一人一人が、更なる「実り」「収穫」を実感できるように尽力したいと考えています。ご家庭でも、子どもたちの見取りや見届けをよろしくお願いいたします。



◇今後の学校行事等について◇

静岡県に発出されていた緊急事態宣言は、9月30日（木）に解除される見込みとなりました。しかし、引き続き「富士市の感染レベル」は、ある程度の水準を示しています。そこで、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準～」(文部科学省)に基づいて、今後の学校行事等の見通しを立てました。

規模を縮小してでも学校行事等を実施し、その活動を通して子どもたちが、自己の成長を感じ、次のことへのステップにつなげることが重要だと考えています。何卒、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

○「広見っ子フェスティバル」10/22（金）について

子どもたちが楽しみにしている活動ですが、感染レベル1の状況でも、1年生から6年生までが交流する形で開催いたしますと「感染するリスクが高まる」と判断しました。そこで、学年の学習の進捗や行事等を鑑み、代替案として時期を遅らせて学年間若しくは学年内において交流する機会を設定し、内容を工夫しながら短時間で実施することにいたしました。

○「みどりの学校」11/2（火）について

以前、11月上旬に延期する旨を連絡させていただきましたが、他団体の利用状況と併せて少年自然の家と日程を相談、調整して11月2日（火）に実施することにしました。しかし、感染レベル2若しくは1の場合でも、「集団による入浴や就寝は感染リスクが高まる」と判断し、日帰り一日の計画に変更いたします。子どもたちが、達成感や充実感を得られるように準備を進めていきたいと考えています。日程や活動内容等の詳細につきましては、後日お知らせいたします。感染レベル3が見込まれる場合は、再度、延期することを検討していきます。

○「修学旅行」11/16（火）17（水）について

現在、山梨県方面で、1泊2日による計画を立てています。今後、富士市の感染レベルと併せて静岡県の感染レベルも吟味して判断する必要があると考えています。状況によっては、「県外への移動の自粛」及び「泊を伴うことは感染リスクが高まる」と判断し、静岡県内で日帰り2日間の日程に変更いたします。また、静岡県に緊急事態宣言の発出が見込まれる場合は、延期することを考えています。

ホテル代等のキャンセル料が関係してきますので、見込まれる状況とPTAの方々の意見もうかがいながら、10月12日（火）に最終判断をいたします。いずれにしても、見学地や行程等の計画に変更が生じた場合でも、子どもたちの興味や関心、思いを反映させながら、付けたい力を明確にして、満足感や充実感が得られる修学旅行にしていきたいと考えています。